

(様式1)

学校番号 (小・中 )

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立 ( 西小 ) 学校運営協議会長

### <本年度の目標>

○学校評価アンケート結果の経年変化や児童・保護者・職員3者の評価に乖離が見られる部分の分析を進めることを通して、学校が抱える課題をより一層明確にし、改善策についての熟議を深めていく。

○一部の方の厚意に頼ることなく、無理せず継続できる「応援団的組織」を構築していく。

### <評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた  できた ウ あまりできなかった エ できなかった  
(理由)

本年度の目標に沿い、分析資料を基に具体的な熟議テーマが提示され、意見交換が行われた。しかしながら、限られた時間の中では、意見の共有を図ったり、具体的な改善策をまとめたりするまでの熟議を深めることは難しかった。

### <評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた  できた ウ あまりできなかった エ できなかった  
(理由)

今年度から「西小応援団」として子供たちの成長を支える組織が構築され、活動の周知やボランティア数の充実、持続可能なものとしていくための課題について熟議した。話し合い形態として、委員を2グループに分けて話し合う機会を設けたが、意見の衝突がなくなってしまう熟議が深まらないという反省が残った。

### <評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った  行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった  
(理由)

運営協議会終了後には、毎回、議会の協議結果を「CSだより」にまとめ、ホームページ上で公開することで情報発信を行った。今後は、このような情報を発信していることを学校だよりを通して周知することで効果を高めていきたい。

### <評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

○「西小応援団」活動の内容と参画の拡充を図ることで、子供たちの学校生活の充実や学習の成果が実感できる活動を行っていく。

○全教職員と運営協議会委員との話し合いの場を設けることを通して、本校が抱える課題をより一層明確にし、熟議テーマにつなげる。